

	号外	定価 1部 2円	県職労スボ祭 (11/15~16)
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内	No.2308 2014年 11月 4日 参加〆切迫る 希望者は 支部書記局へ

## 14 確定闘争情報 - ④ 職場

# 現給保障廃止阻止は依然平行線

人事課交渉

月例給・一時金は引上げに向け検討  
遠距離通勤者の通勤手当改善を検討  
旧川井・新里・田老の寒冷地手当復活

県地公共闘（議長：砂金良昭・岩教組委員長）は、10月31日、県内各地から結集した約250人の県庁座り込み行動を背景に熊谷人事課総括課長と交渉を行った。交渉前段には、職場の仲間から託された5,667筆分の「大型はがき署名」を提出した。

交渉では、給与改善や通勤手当、寒冷地手当等で一定の改善回答を引き出したものの、現給保障の廃止を強行したい当局の姿勢に交渉団が厳しく追及。交渉は平行線を辿ったことから、次回総務部長交渉への再考を求めた。

31日の交渉結果は以下のとおり。



### \* 月例給・一時金 プラス改定実施の方向で検討

《地公共闘》生計費維持・改善のためにも月例給・一時金のプラス改定を！

【熊谷課長】人事委員会の勧告どおり実施する方向で上司と相談している。

### \* 現給保障 適用者の深刻な影響訴えるも廃止の考え変えず

《地公共闘》保障廃止は相当額分の給与カットと同様。あらためて継続支給を求める。

【熊谷課長】国が廃止した際は適用者の割合が10%程度であり、本県も同様まで減少していることに加え、現給保障措置が高齢層の公民の給与差の一因となっていることを踏まえての勧告と理解している。人事委員会の判断を重く受け止め、勧告どおりの実施を検討中。

《地公共闘》高校職場では200人以上、小中事務職員は3割以上、知事部局でも360人を超える職員が未だ保障適用者。この方々は既に9年間も給料が上がっていない。その上に更なる減

額を強いることは許されない。復興をリードする世代でもあり勤務意欲確保をどうしていくつもりか。

【熊谷課長】勤務意欲への影響に対する課題認識は持っているが、代替措置としての統一的な制度対応は難しい。個々の職員に着目した対応が必要と考えている。各任命権者と連携して取り組んでいきたい。

《地公共闘》勧告に従う姿勢のみが強調され、大幅な給与減額となる適用者の生活への深刻な影響への配慮が全く見られない。次回、部長交渉まで再考を求める。



## \* 通勤手当 交通用具使用者について改善の方向で検討中

《地公共闘》ガソリン価格の上昇等による自己負担額が増えている。手当改善の検討状況は？

【熊谷課長】現時点で結論までには至っていないが、特にも遠距離を通勤する職員にとって大きな負担が生じていることは承知しており、改定の必要性について検討している。次回総務部長交渉には結果を示せるよう、検討を急ぎたい。

《地公共闘》交通機関利用者の手当改善の検討状況は？

【熊谷課長】通勤手当の限度額は条例事項だが今年は勧告で言及されなかった。職員の負担軽減については、引き続き課題認識を持ちながら検討を進めていきたい。

## \* 寒冷地手当 旧川井・新里・田老は指定基準を満たしている

《地公共闘》寒冷地手当の支給に向けたメッシュデータの確認結果はどうか。

【熊谷課長】新しいメッシュデータにおいて、山田町については指定基準を満たしていないが、旧川井・新里・田老は引き続き基準を満たすことを確認したことから、引き続き支給地域としたい。山田町は国人勧に準じた経過措置(毎年6,000円の逡減)を講じることとしたい。

## \* ハラスメント対策 人事委員会へ具体的検討を要請した

《地公共闘》ハラスメント防止に向け、県全体の統一的な対策を求めてきたが、検討状況はどうか。



【熊谷課長】統一的な対応を求める意見をいただき、前回の交渉後、直ちに人事委員会と協議した。人事委員会からは「ハラスメント防止に向けた職員の意識啓発について具体的な対応を検討したい」との回答を得ている。人事委員会とも連携しながら対応を進めていく。